※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真１）（表１）などと文中に記載し、右ページに（写真１）（表１）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. 158

【様式２】

エントリー学校名：香川県三豊市立比地小学校

活動名： 教育目標に向き合う学校　～生活・総合を核にしたカリ・マネ～

解決すべき課題：学校教育目標に向かうカリキュラム・マネジメント

本校の学校教育目標は「胸をおどらせ　胸をはって生きる子どもを」である。この目標を掲げ、さまざまな教育活動に励んでいるが、目標ができて５年目、教師の入れ替わりや若返りもかなり進んだ現在、今一度この目標に立ち返り学校一丸となって子どもたちに向き合う必要がある。

目標・方針：

①「次は～したい！」「～のために！」というわくわく感をもち“胸をおどらせながら”学びに向かう 子ども と 教師

②「友だちが好き・クラスが好き・比地小が好き・地域が好き、その中の一員である自分が大好きだ。」と“胸をはれる”子ども と 教師

活動内容：

① 生活科・総合的な学習を中心とした、学校教育目標に向かうカリ・マネと実践

② 自己肯定感を高める活動の充実

活動の成果：

○ 学校教育目標の達成に向かうために、ということを考えるとき、すべての教育活動のベクトルを同じ方向に向ける必要がある。特に、総合的な学習の時間においては、各校で定める目標が、学校教育目標に直結するものであるため、低学年での生活科と中学年以上の総合的な学習の時間をカリ・マネの中心に据え、６年間を見据えて系統立てて主体的な学習が繰り返されるようにした。（写真１　資料１・２）

○ これまで総合的な学習の時間の単元計画に頭を悩ませ、一貫性のない体験活動が多かった学年の単元計画が、目標が明確になったことや他の教師との意見交換の機会が増大したことで充実し、教師自身の生活科・総合的な学習の時間の単元、授業づくりへの姿勢が前向きになった。（写真１・２　資料１・２）

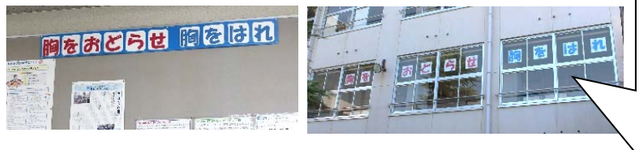
○ 高学年の総合的な学習の時間において、社会・学校参画を意識した学習が繰り返されるにつれ、「学校をよりよくしたい」という意識が向上し、行事においても、児童の主体的な活動が充実した。（写真３・４）

アピールポイント（アイディアや工夫）：

① 学校全体として学校教育目標に向かうという意識作り(若年～ベテラン、管理職までが同じ志で)

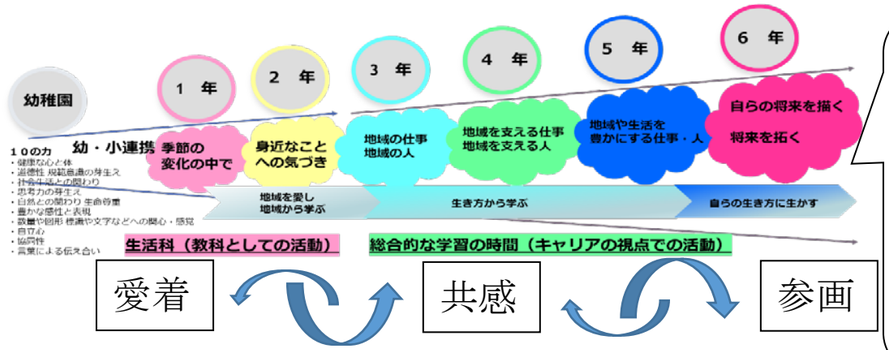
② 児童の、学校・社会参画意欲の向上

③ 児童の個性やよさが発揮され、認められる活動の活発化



【写真１　学校教育目標を掲示する】

職員室に加え、児童にも来客や保護者にも目に付く場所に学校教育目標を掲示している。児童にとってもなじみのある目標になっており、本年度は体育祭のテーマにも選ばれた。教員も一丸となって、胸をおどらせ、児童に胸をはれる教育活動を実践し続けている。

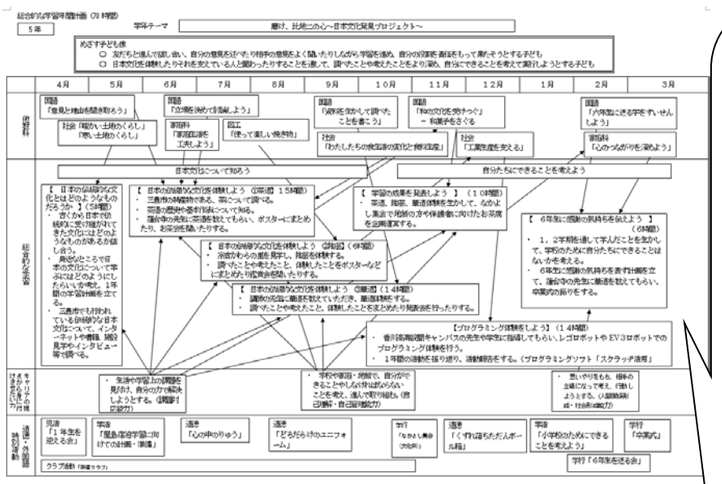


【資料１　生活科から総合的な学習にかけて６年間にわたる学習の系統図】

主に、低学年では、季節や身近なことから、地域の「人・もの・こと」への愛着を。

中学年では、地域の人の思いへの共感を。

高学年では、思いを基に地域への参画を目指していく。



【資料２　令和元年度　５年生　総合的な学習の時間年間計画】

例えば、５ 年生では、「茶道体験」「陶芸体験」「和三盆づくり体験」などの日本文化体験を行った。

地域の方や他の学習の講師の方々、卒業する６年生など、お世話になった方々への「感謝のお茶会」を開きたいという児童の思いから、３つの体験活動が単発の活動にならず、明確な目標に貫かれた主体的な活動になった。

昨年度末、突然の休校により、「感謝のお茶会」は開催間近で断念することになったが、児童は、一歩ずつ自分たちのゴールへ向かっていくわくわく感を感じながら学習を進め、「～のために。」という参画意欲を高めることができた。

自信を付けた児童は、最上級生なった本年度、「よりよい学校のために」という目標を掲げ自信をもって学校生活を送っている。

【写真２　単元計画や授業づくりの相談会】

教員研修の場は、円形の配置を意識した。年度初めの会では、生活科・総合的な学習の時間の単元づくりについて意見を出し合った。教師の児童への思いやアイデアにより単元計画が大きく作り替えられた学年もある。

【写真３　芸能自慢大会】
※校長・教頭による劇

児童会が学期に１、２回主催する、自慢発表の場。当日は昼休みを４５分に変更している。児童からは、縄跳びやマット運動の発表の他に、ピアノ演奏や手品の披露などがある。教員も積極的に出場して盛り上げる。企画から運営まで児童会とボランティアで行われる。

【写真４　きらりさんの木】

友だちのよいところを見つけて紹介する活動。細部にこだわり、「自分だけがみつけた友だちのいいところ」を視点に紹介し合う。メッセージカードを渡し合い、全校生分を廊下に掲示した。